



BJ2679
DZ7187 - DZ7188



FL137EA
DZ5175, DZ5176



MLL033
DZ5145, DZ5146



BJ2957
DZ7196, DZ7208, DZ7209



FL610AB, MLG367D
DZ7118, DZ7119, DZ7120,
DZ7121, DZ7169 - DZ7172,
DZ7235, DZ7236



MLL-045
DZ7091, DZ7092, DZ7109,
DZ7110, DZ7162, DZ7176,
DZ7237, DZ7238



BJ3170
DZ7153, DZ7156, DZ7157,
DZ7189 - DZ7192



FO-001
DZ7206, DZ7207



QAA-006, QAA-033
DZ7095, DZ7096, DZ7097,
DZ7098, DZ7105, DZ7106,
DZ7113, DZ7115, DZ7116,
DZ7117, DZ7189 - DZ7190



F145GR3
DZ7069 - DZ7071, DZ7087,
DZ7117



FO-002
DZ7076, DZ7077, DZ7078,
DZ7083, DZ7093, DZ7094



GBJ2718-AA
DZ7173 - DZ7175, DZ7195,
DZ7202 - DZ7205



FDT003
DZ7006, DZ7043, DZ7046,
DZ7142, DZ7143, DZ7144



G3 & G1
DZ7122, DZ7123, DZ7124,
DZ7152, DZ7154, DZ7155,
DZ7180, DZ7184 - DZ7186



GBJ3101-AA
DZ7177 - DZ7179, DZ7197 -
DZ7201



FL0521
DZ7099, DZ7100



**MD-FL298X, FL388,
QFL226DB**
DZ7081, DZ7082, DZ7130 -
DZ7136, DZ7145, DZ7146,
DZ7149 - DZ7151, DZ7181 -
DZ7183, DZ7211 - DZ7213



QFL631BA
DZ7162 - DZ7168, DZ7176,
DZ7218



FL075AB
DZ7033, DZ7034, DZ7066,
DZ7068, DZ7089, DZ7137,
DZ7138, DZ7139, DZ7140,
DZ7141, DZ7147, DZ7148



MLG-035
DZ7107, DZ7108



ZD0603B01
DZ5173, DZ5174, DZ7079,
DZ7080, DZ7111, DZ7112



FL137AX
DZ7101 - DZ7103, DZ7125 -
DZ7127, DZ7193, DZ7194,
DZ7214, DZ7221

お取り扱い上の注意

- 水中ではボタン操作、時刻合わせ、ベゼルの回転させるなどの動作は行わないでください。また時計が塩水に浸かった場合は使用后、必ず真水ですすいでください。
- 風呂、サウナ内での着用、および放置はおさげください。高温と湿度(水分)が組み合わさることにより、防水機能に支障が生じる場合があります。
- 温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください。
- 強い振動のあるところに放置しないでください。
- 極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- 静電気や携帯電話、パソコン、テレビ、オーディオ機器、磁気プレスなど、強い磁気に近づけますと進み遅れの原因となりますので、ご注意ください。
- PM8:00から翌AM3:00までの間に針の逆回しや日付の調整を行うことはお避けください。構造上、時計の作動にダメージを与える場合があります。
- 化学薬品、ガス(シンナー、ベンジン等)に時計が触れないようご注意ください。
- 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- 時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損もおそれがありますので絶対に充電しないでください。
- -5℃以下、+50℃以上の温度下に放置すると、時計本体およびデジタル表示部分の機能が低下する場合があります。
- 革、金属かぶれ、アレルギー
- ◇ ケース、バンドは直接肌に接しています。汚れたままにしておくと錆びて衣類の袖口を汚したり、皮膚の弱い方はかぶれる場合もありますので、常に清潔にしてご使用ください。
- ◇ 万一、肌などに異常が生じた場合は、直ちに着用を中止し、医師にご相談ください。
- ◇ お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後の電池の寿命期間はそれぞれ異なることもございますのでご了承下さい。

● 日常のお手入れ

- ◇ 革バンドは乾いた布などで水分を吸い取るように拭いてください。こすると色落ちしたり、つやが失われたりするおそれがあります。
- ◇ 金属バンドは柔らかい歯ブラシなどを使い石鹸水で部分洗いをするなどのお手入れをときどき行ってください。非防水の時計の場合には時計本体(ケース部分)に水がかからないようご注意ください。また、洗浄後は駒の隙間に水分が残っている場合がありますので、通気性のよい所で十分乾燥させてください。
- ◇ ケース、バンドについた汚れ、汗、水分などは錆の原因になりますので、吸湿性のよい柔らかい布などで拭き取ってください。
- ◇ ウレタンやプラスチック素材のバンドは特に手入れの必要はありませんが、汚れのひどいときは石鹸水で洗ってください。化学製品ですので溶剤によって変質することがあります。素材の性質上、通常数年使用すると硬化したり、色が褪せたりする場合がありますので、その際はバンド交換を行ってください。
- 電池は時計から取り出さないでください。取り出した場合には幼児の手が届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。電池が切れたまま長期間放置すると漏液などで故障の原因となることがありますので、お早めに交換をご依頼ください。

お取り扱い上の注意

- 水中ではボタン操作、時刻合わせ、ベゼルの回転させるなどの動作は行わないでください。また時計が塩水に浸かった場合は使用后、必ず真水ですすいでください。
- 風呂、サウナ内での着用、および放置はおさげください。高温と湿度(水分)が組み合わさることにより、防水機能に支障が生じる場合があります。
- 温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください。
- 強い振動のあるところに放置しないでください。
- 極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- 静電気や携帯電話、パソコン、テレビ、オーディオ機器、磁気プレスなど、強い磁気に近づけますと進み遅れの原因となりますので、ご注意ください。
- PM8:00から翌AM3:00までの間に針の逆回しや日付の調整を行うことはお避けください。構造上、時計の作動にダメージを与える場合があります。
- 化学薬品、ガス(シンナー、ベンジン等)に時計が触れないようご注意ください。
- 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- -5℃以下、+50℃以上の温度下に放置すると、時計本体およびデジタル表示部分の機能が低下する場合があります。
- 革、金属かぶれ、アレルギー
- ◇ ケース、バンドは直接肌に接しています。汚れたままにしておくと錆びて衣類の袖口を汚したり、皮膚の弱い方はかぶれる場合もありますので、常に清潔にしてご使用ください。
- ◇ 万一、肌などに異常が生じた場合は、直ちに着用を中止し、医師にご相談ください。
- お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後の電池の寿命期間はそれぞれ異なることもございますのでご了承下さい。

● 日常のお手入れ

- ◇ 革バンドは乾いた布などで水分を吸い取るように拭いてください。こすると色落ちしたり、つやが失われたりするおそれがあります。
- ◇ 金属バンドは柔らかい歯ブラシなどを使い石鹸水で部分洗いをするなどのお手入れをときどき行ってください。非防水の時計の場合には時計本体(ケース部分)に水がかからないようご注意ください。また、洗浄後は駒の隙間に水分が残っている場合がありますので、通気性のよい所で十分乾燥させてください。
- ◇ ケース、バンドについた汚れ、汗、水分などは錆の原因になりますので、吸湿性のよい柔らかい布などで拭き取ってください。
- ◇ ウレタンやプラスチック素材のバンドは特に手入れの必要はありませんが、汚れのひどいときは石鹸水で洗ってください。化学製品ですので溶剤によって変質することがあります。素材の性質上、通常数年使用すると硬化したり、色が褪せたりする場合がありますので、その際はバンド交換を行ってください。
- 電池は時計から取り出さないでください。取り出した場合には幼児の手が届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。電池が切れたまま長期間放置すると漏液などで故障の原因となることがありますので、お早めに交換をご依頼ください。

防水機能について

表示				仕様目的			
---				汗雨	※1 手洗い 水しぶき	水泳など	スノーバレーン (ホップなし)
1	30M	100 FEET	3 ATM	可	不可	不可	不可
2	50M	165 FEET	5 ATM	可	可	不可	不可
3	100M	330 FEET	10 ATM	可	可	※2 可	不可
4	200M	660 FEET	20 ATM	可	可	可	可

- ◆ 50M/165FEET/5ATM 防水は洗顔、手洗い等、日常生活における多少の水しぶきに耐えられる防水特性を備えております。
- 使用時は下記にご注意下さい。
- リューズは常に通常位置に設定してください。
 - 温水はバックンを変質させて浸水原因になりますので、シャワー・お風呂(サウナを含む)等でのご使用はお避けください。
 - クロノグラフ(ストップウォッチ)及びボタン機能付きの時計を水中に使用されますと水圧により浸水することがありますので、水中でのボタン操作はお避けください。
- ※1 蛇口およびシャワーの水流は、100M/330FEET/10ATM以上の圧力がかかる事がございますので、洗顔や手洗いの際はお気を付け下さい。
 ※2 100M/330FEET/10ATMの防水は、水泳可能ですが使用状況によって浸水する可能性がありますのでご注意ください。

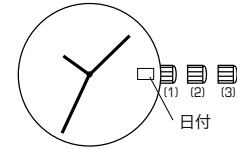
オートマティック ワインディング ムーブメント

オートマティックワインディングウォッチは手首の動きによって巻き上げられる仕組みになっており、電池は入っておりませんので、何日も使用していないと止まってしまいます。止まってしまった場合は手で時計回りに十分に巻き上げてください。

手首の動きによって稼動しますので、手首にしっかりと着けてください。あまり緩めに着用していただきますと遅れの原因になります。十分に巻き上げられた状態で約38時間稼動します。

オートマティック 6T51

1. リューズが1の状態、15～20回時計回りに巻き上げてください。
2. リューズを2の位置まで引き出し、時計回りに回して時刻を合わせます。合わせたらリューズを1の位置まで押し戻します。
3. リューズを2の位置まで引き出し、3の位置まで1回ずつ引っ張ると1日ずつ日付が進みます。日付を合わせたらリューズを1の位置まで押し戻します。



TV自動巻きムーブメント

巻き上げ

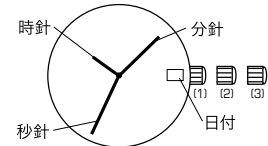
1の位置にある状態で15～20回リューズを回し、時計を若干振ると、動作を開始します。約40～42時間後に、再び巻き上げてください。

時間の設定

1. リューズを2の位置まで引き出します。
2. リューズを回して、時針と分針を設定します。
3. リューズを1の位置まで押し戻します。

日付の設定

1. リューズを2の位置まで引き出します。
2. リューズを2の位置から3の位置に引き出し、日付を1日進めます。
3. 日付の設定が終了したら、リューズを1の位置まで押し戻します。



自動巻き上げ機能8215

巻き上げ

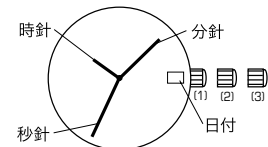
1の位置にある状態で15～20回リューズを回し、時計を若干振ると、動作を開始します。約40～42時間後に、再び巻き上げてください。

時間の合わせ方

- 1) ユーズを3の位置まで引き出します。
- 2) ユーズを回して、時間を合わせます。
- 3) ユーズを1の位置に押し戻します。

日付の合わせ方

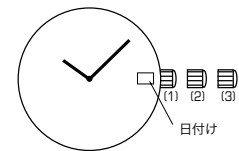
- 1) ユーズを2の位置まで引き出します。
- 2) ユーズを反時計回りに回して日付を合わせます。
- 3) ユーズを1の位置に押し戻します。



カレンダーモデル GL10, IS13, VJ32A11, VJ32A31, 9T13, 505.2-3, 515.1-3, 515.2-3, 585.2, 715-2, 2115, 2315

日付の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. リュウズ奥に回して日付を合わせます。
3. リュウズを1の位置に押し戻します。



時刻の設定

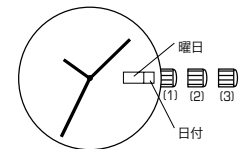
1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. 手前へリュウズを回して針を進め、当日の日付に変わるまで回し続けます。
3. 時分針を正しい時刻にセットします。
4. リュウズを1の位置に押し戻します。

日付/曜日モデル IS02, 507.2-3, 517.2, 2105, 2305, 2405

(リュウズ1)

日付の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. リュウズを手前(反時計回り)に回して、前日の日付に合わせます。



曜日の設定

2の位置に引き出した状態のままリュウズを奥(時計回り)の方向に回し、前日の曜日に合わせます。

時刻の設定

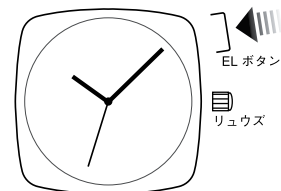
1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. 時分針を正しい時刻にセットします。
3. 全ての設定が終了したら、リュウズを1の位置まで押し戻します。

EL機能付3針モデル 6N30 / OU30

EL機能

EL (ライトアップ) ボタンはリュウズの上部にあり、ELボタンを押すと文字盤が3秒間ライトアップされ、暗がりでも時刻を読み取ることができます。

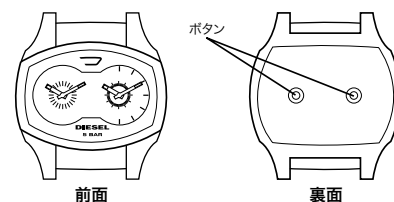
DZ1065 および DZ1066 は、米国特許番号 6,106,127、6,299,321、6,486,561により保護されています。



デュアルタイムウォッチ K62/132

時刻設定

1. ボタンを押して、時針と分針を動かします。
2. 正確な時刻に設定します。

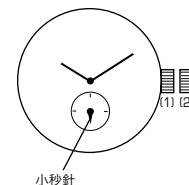


サブセカンド 1L45

時刻の設定

リュウズを2の位置まで引き出し、回して時刻を設定します。

注意:リュウズを1の位置に押し戻すと、小秒針が動き始めます。



デイ/デイト マルチファンクション VX36A1

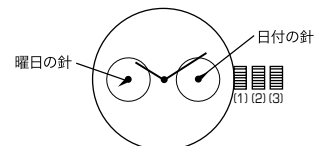
日付と時間の設定

1. 3の位置にくるまで、リュウズを引き出してください。
2. リュウズを時計回りに回して、時針と分針を進めてください。

曜日を示す針は、時針と分針とともに動きます。ご希望の曜日が出るまで、リュウズを回し続けてください。

日付の設定

1. 2の位置にくるまで、リュウズを引き出してください。
2. リュウズを時計回りに回して、日付の針を進めてください。



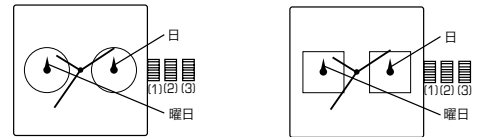
マルチファンクション 6P25, 6P75

日付の設定

1. 2の位置にくるまで、リュースを引き出します。
2. リュースを反時計回りに回し、日付を選択します。

日付と時刻の設定

1. 時刻を設定するには、3の位置にくるまでリュースを引き出します。
2. リュースを時計回りに回して、時針と分針を設定します。曜日を示す針は、時針と分針とともに動きます。ご希望の曜日が出るまで、リュースを回し続けます。
3. リュースを1の位置まで戻します。



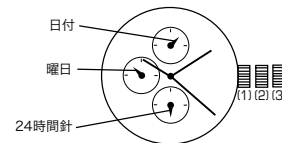
マルチファンクション 6P27

時刻と曜日の設定

1. リュースを3の位置まで引き出すと、秒針が止まります。
2. リュースを時計回りに回して曜日を合わせます (時、分、24時間針も一緒に動きます)。注: リュースを反時計回りに回して合わせないでください。日付が間違ってしまう恐れがあります。
3. リュースを回して時間と分を設定します。正確に時間を合わせるには、合わせたい時刻の5分後位までリュースを回し、針を戻しながら合わせます。
4. 設定が終了したら、リュースを1の位置まで戻します。注: 時間を設定する時は24時間表示インダイヤルで午前/午後を確認してください。

日付の設定

1. リュースを2の位置まで引き出します。
2. リュースを反時計回りに回して日付を設定します。注: 午後9時~午前12:30まで日付は設定しないでください。日付が正しく表示されない可能性があります。



マルチファンクション VX3J

日付の設定

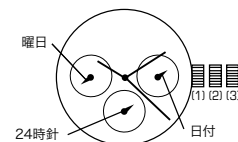
1. 2の位置にくるまで、リュースを引き出します。
2. リュースを時計回りに回して、日付の針を進めます。
3. リュースを1の位置まで戻します。

日付と時刻の設定

1. 3の位置にくるまで、リュースを引き出します。
2. リュースを時計回りに回して、時針と分針を進めます。曜日を示す針は、時針と分針とともに動きます。ご希望の曜日が出るまで、リュースを回し続けます。

24時サブダイヤルの設定

24時針は、時針と分針とともに動きます。時刻を設定するときは、24時針が正しく設定されていることを確認してください。



クロノグラフモデル 5020B

(リュース1/プッシュボタン2)

日付と時刻の設定

1. リュースを2の位置まで引き出します。
2. リュースを手前(反時計回り)に回し、日付を前日に合わせます。
3. リュースを3の位置まで引き出すと、全てのクロノグラフ針がゼロ位置に戻ります。針がゼロ位置に戻る前にリュースを押し戻さないでください。
4. リュースを奥(時計回り)に回して、日付を合わせます。
5. リュースを回して時刻を設定します。
6. 設定が終了したら、リュースを1の位置まで押し戻します。

クロノグラフの使い方

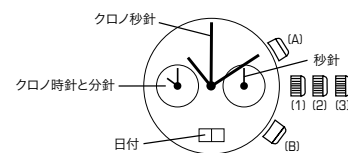
1. Aボタンを押すとクロノグラフがスタート/ストップします。
2. Bボタンを押すとクロノグラフがリセットされます。

スプリットタイムの計測

1. クロノグラフが作動中にBボタンを押すとスプリットタイムが計測されますが、内部でトータルタイムは計測されています。
2. 再度Bボタンを押すと次のインターバルが始まり、3つのクロノグラフの針が内部で計測されていたトータル測定値に飛びます。
3. Aボタンを押してクロノグラフをストップします。
4. Bボタンを押してリセットします。

クロノグラフゼロリセット

1. リュースを3の位置まで引き出します。
2. クロノグラフ秒針が回り始めるまで、AボタンとBボタンを同時に2秒間長押ししてください。
3. Aボタンを押すとクロノグラフ秒針がゼロ位置に戻ります。長押しすると早送りで針は進みます。
4. Bボタンを押してクロノグラフの分針と時針を動かします。
5. 3の作業を繰り返し、クロノグラフの分針と時針をゼロ位置に戻します。
6. 全てのクロノ針がゼロ位置に戻ったら、リュースを1の位置に戻します。



クロノグラフモデル OS10 (日付なし OS30) (リュウズ1 / 操作ボタン2)

時刻の設定

1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. リュウズを回して時間を合わせます。
3. リュウズを1の位置まで押し戻します。

日付の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. 正しい日付が表示されるまで、リュウズを手前に回します。
3. リュウズを1の位置まで押し戻します。

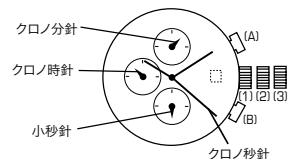
クロノグラフの使用法

1. Aボタンを押して計測のスタート/ストップを行います。
2. Bボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、クロノ秒針、クロノ分針、クロノ時計が0位置に戻ります。

クロノグラフ針位置の調整(0リセット)

クロノグラフをリセットしても、クロノ秒針がゼロ位置に戻らないときは、この操作を行ってください。

1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押してクロノ秒針をゼロ位置に合わせます。(Aボタンを押し続けることによって、針を早く進めることができます。)
3. 時計を正しい現在時刻に合わせてリュウズを1の位置に押し戻します。



クロノグラフ&日付モデル OS20, FS00, FS20 (リュウズ1/プッシュボタン2)

時刻の設定

1. リュウズを3の位置まで引き出します。全てのクロノ針がゼロ位置に戻ります。針がゼロ位置に戻る前にリュウズを通常位置に押し込まないでください。
2. リュウズを回して時計針、分針、24時計を合わせます。
3. リュウズを1の位置まで戻します。

日付の設定

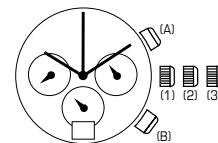
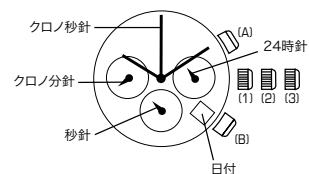
1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. リュウズを奥(時計回り)に回して日付を合わせます。
3. リュウズを1の位置まで押し戻します。

クロノグラフの使用法

1. Aボタンを押すとクロノグラフがスタート/ストップします。
2. Bボタンを押すとクロノグラフがリセットされます。

クロノグラフゼロリセット

1. リュウズを3の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押すとクロノグラフ秒針がゼロ位置に戻ります。長押しすると早送りで針は進みます。
3. クロノ秒針がゼロ位置に戻ったら、リュウズを1の位置に戻します。



クロノグラフ JS15, JS25, JS26

時刻/日付設定

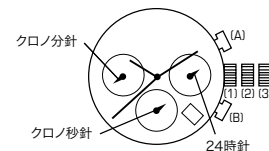
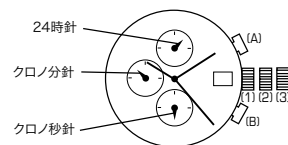
1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. リュウズを時計回りに回し、日付ウィンドウに前日の日付が表示されることを確認します。
3. リュウズを3の位置まで引き出します。
4. リュウズを時計回りに回し、正しい日付を表示します。
5. リュウズをさらに回して、正しい時刻を設定します。
注: 24時間針は時計の時分針に順じて動きます。時刻合わせをする際は、24時間針が正しく設定されているか確認してください。
6. リュウズを1の位置まで押し戻します。
注: リュウズが2の位置にある時は、ボタンは押さないように注意してください。ボタンを押すと針が動いてしまいます。
注: 午後8時～午前2時に針があるときは日付を設定しないでください。 機械を壊してしまう可能性があります。

クロノグラフ

1. Aボタンを押して、クロノグラフを作動/ストップさせます。
2. Bボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、クロノ秒針、クロノ分針、クロノ時計が0の位置に戻ります。

クロノグラフ ゼロリセット

1. もしクロノグラフ針がゼロのポジション(12時のポジション)を指していない場合、リュウズを3の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押すとクロノ秒針、クロノ分針ともに時計回りに進みます。Bボタンを押すとクロノ秒針、クロノ分針ともに反時計回りに進みます。Aボタン、Bボタンとも一回押すごとに一目盛り分進みます。ボタンを長押しすると針が早送りで進みます。
3. 時計を正しい現在時刻に合わせて、リュウズを1の位置に押し戻します。
注: クロノグラフ ゼロリセット中は、クロノ分針はクロノ秒針に合わせて動きます。



クノグラフモデル OS60 (リユース1/操作ボタン2)

時刻の設定

1. リユースを3の位置まで引き出します。クノグラフ秒針と1/20秒針がゼロ位置に戻ります。
2. リユースを回して針を進め、正しい時刻にセットします。
3. リユースを1の位置まで押し戻します。

日付の設定

1. リユースを2の位置まで引き出します。
2. 手前(反時計回り)の方向に回して正しい日付を表示させます。
3. リユースを1の位置まで押し戻します。

クノグラフの使用法

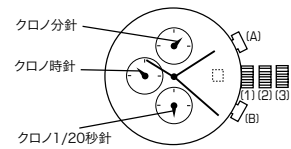
1. Aボタンでクノグラフの計測をスタート/ストップすることができます。
2. Bボタンを押すとクノグラフをリセットすることができます。
3. 計測を開始して30秒以上経過すると1/20秒針の動きは停止しますが、計測は引き続き行われており、Aボタンを押して計測をストップさせると正確な経過時間を表示します。
4. クノグラフをリセットした後、Bボタンを押すと1/20秒針を通常の時計の秒針として機能させることができます。

クノグラフ針位置の調整

クノグラフをリセットした後や、電池を交換した後など、クノ針がゼロ位置に戻らないときに、下記の手順を行ってください。

1. リユースを3の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押してクノ秒針のゼロ位置に合わせます。ボタンを一押しすることに針は一目盛り分進みます。長押しすると早送りが進みます。
3. Bボタンを押して1/20秒針をゼロ位置に合わせます。ボタンを一押しすることに針は一目盛り分進みます。長押しすると早送りが進みます。
4. 針がゼロ位置に戻ったら、リユースを通常位置に戻します。

注)針がゼロ位置に戻る前にリユースを通常位置に戻さないでください。リユースが通常位置に戻された時に途中で針が止まり、その位置がゼロ位置と認識され、その位置から計測が始まってしまいます。



クノグラフモデル VD57B (日付なし VD55B) (リユース1/操作ボタン2)

時刻の設定

1. リユースをカレンダー付モデルの場合3の位置まで、カレンダーが付いてない場合2の位置まで引き出します。
2. 奥(時計回り)の方向へリユースを回して針を進め、正しい時刻にセットします。
3. リユースを1の位置まで押し戻します。

クノグラフの使用法

1. Aボタン:クノグラフのスタート/ストップ。
2. Bボタン:スプリットタイムの計測、および、クノグラフのリセット。

クノグラフ針位置の調整

クノグラフ針がゼロ位置からずれている場合は、リユースを引きAボタンとBボタンを同時に2秒間以上押し続けてください。手を放すとクノグラフの秒針と1/10秒針がぐるっと回転し、ゼロ位置に戻ります。

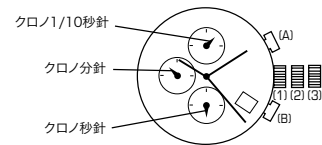
クノグラフをリセットした後や、電池を交換した後など、クノ針がゼロ位置に戻らないときに、下記の手順を行ってください。

1. リユースを2(カレンダー付モデルは3)の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押すとクノ1/10秒針のゼロ位置を調整することができます。
3. Bボタンを押すとクノ秒針とクノ分針のゼロ位置を調整することができます。針は時計回りの方向にのみ進みます。
4. Aボタン、Bボタンとも1回押しごとに1目盛り分進みます。ボタンを長押しすると針が早送りが進みます。
5. リユースを1の位置まで押し戻します。

注)針がゼロ位置に戻る前にリユースを通常位置に戻さないでください。リユースが通常位置に戻された時に途中で針が止まり、その位置がゼロ位置と認識され、その位置から計測が始まってしまいます。

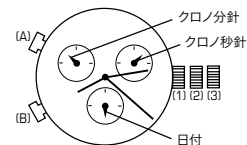
日付の設定(カレンダー付モデル VD57対象)

1. リユースを2の位置まで引き出します。
2. 奥(時計回り)の方向に回して正しい日付を表示させます。
3. リユースを1の位置まで戻します。



クロノグラフモデル ISA 8161/202

(リユーズ1/ボタン2)



時間の合わせ方

1. リユーズを3の位置まで引き出します。
2. リユーズを時計回りに回して時間を進めます。
3. リユーズを1の位置に戻します。

日付の合わせ方

1. リユーズを2の位置まで引き出します。
2. リユーズを時計回りに回して日付を進めます。
3. リユーズを1の位置に戻します。

クロノグラフのゼロリセット

1. AボタンとBボタンを同時に押します。
2. 次にボタンBを押すとクロノ分針をリセットできます。
3. 次にボタンAを押すとクロノ秒針をリセットできます。
4. 設定を終了するにはAボタンとBボタンを再度同時に押します。

クロノグラフ計測方法

1. Aボタンを押すとカウントが始まります。
2. 次にAボタンを押すとカウントをストップできます。
3. Bボタンを押すとリセットできます。

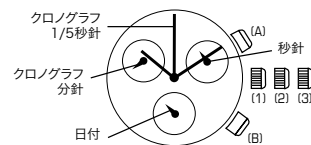
スプリット計測

1. Aボタンを押すとカウントが始まります。
2. 次にBボタンを押すとカウントを一時ストップできます。
3. 更にBボタンを押すとカウントを経過している時間から再スタートします。
4. Aボタンを押すとカウントをストップできます。
5. Bボタンを押すとリセットできます。

クロノグラフ ISA 8171/201

時刻 / 日付設定

1. リユーズを2の位置まで引き出します。
 2. リユーズを回して時間を進め、日付ウィンドウに前日の日付が表示されることを確認します。
 3. リユーズを3の位置まで引き出します。
 4. リユーズを回して、正しい日付を表示します。
 5. リユーズをさらに回して、正しい午前・午後時刻を設定します。
 6. リユーズを1の位置に押し戻します。
- 注: 午後9時～午前12:30まで日付は設定しないでください。日付が正しく表示されない可能性があります。



クロノグラフ

1. Aボタンを押して、クロノグラフを作動/ストップさせます。
 2. Bボタンを押して、リスタート/リセットします。
- 注: 2時間以上クロノグラフを作動させていた場合、バッテリーをセーブするために自動的にクロノグラフは停止します。

スプリットタイム測定

1. クロノグラフの作動中にBボタンを押します。
2. Bボタンをもう1度押すと、クロノグラフカウントに戻ります。
3. Aボタンを押すとトータル/スプリットタイムを表示します。
4. Bボタンを押してリセットします。

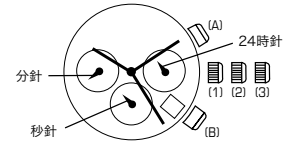
クロノグラフゼロリセット

1. もしクロノグラフ針がゼロのポジション(12時のポジション)を指していない場合、リユーズを2の位置まで引き出します。
2. Bボタンを押して、クロノグラフ分針をリセットします。Bを押すごとに1目盛進みます。Bボタンを長押しすると早送りできます。
3. Aボタンを押してクロノグラフ1/5秒針をリセットします。Bを押すごとに1目盛進みます。Bボタンを長押しすると早送りできます。

クロノグラフモデル VD54 (日付機能付き VD53) (リュース1/操作ボタン2)

時刻の設定

1. 時刻設定前にクロノグラフ秒針がゼロ(12時)の位置にあることを確認します。
2. リュースを2の位置まで引き出します。
3. リュースを時計回りにまわし、前日の日付が出るまで進めます。
4. 秒針が12時の位置にきたら、リュースを3の位置まで引き出します。
5. リュースを回して針を進め、正しい時刻にセットします。
注: サブダイヤルの24時間針は主ダイヤルの時分針に順じて動きます。主ダイヤルの時刻合わせをする際には、24時間針で午前/午後が正しく設定されているかどうかを確認してください。
6. リュースを1の位置まで押し戻します。
注: リュースが2の位置にある時は、ボタンを押さないように注意してください。 ボタンを押すと針が動いてしまいます。



クロノグラフの使用法

1. Aボタンを押して、スタート/ストップします。
2. Bボタンを押して、クロノグラフをリセットします。

中間計測

1. クロノグラフ計測中にBボタンを押します。
2. Bボタンを再度押してクロノグラフ計測に戻ります。
3. Aボタンを押すと最終の計測となります。
4. Bボタンを押してリセットします。

クロノグラフ針位置の調整

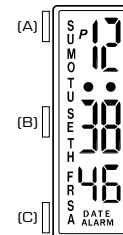
クロノグラフ針がゼロ位置からずれている場合は、リュースを引きAボタンとBボタンを同時に2秒間以上押し続けてください。手を放すとクロノグラフの秒針と分針がぐるっと回転し、ゼロ位置に戻ります。クロノグラフをリセットした後や、電池を交換した後など、クロノ針がゼロ位置に戻らないときに、下記の手順を行ってください。

1. リュースを2の位置まで引き出します。
2. Aボタンを押すとクロノ秒針、クロノ分針ともに時計回りに進みます。Bボタンを押すとクロノ秒針、クロノ分針ともに反時計回りに進みます。Aボタン、Bボタンとも1回押すごとに1日盛り分進みます。ボタンを長押しすると針が早送りで進みます。
3. リュースを1の位置まで押し戻します。

デジタル BJ3170

通常時刻表示

1. Aボタンを押してモードを切り替えます。表示順序は時刻→クロノグラフ→アラーム→時刻設定です。
2. Bボタンを押してアラームを表示します。
3. Cボタンを押して日付を表示します。
4. AボタンとBボタンを同時に押すと、チャイムのオン/オフを切り替えます。(オンにした場合、“ON”と表示されます)
5. BボタンとCボタンを同時に押すと、アラームのオン/オフを切り替えます。アラーム音が60秒間鳴ります。Bボタンを押してアラーム音を止めるか、Dボタンでスヌーズ機能にします。(スヌーズの場合、5分後にアラームが鳴ります。)



クロノグラフ

1. ボタンを押して、クロノグラフモードに移行します。
2. Cボタンを押して、クロノグラフをスタート/ストップします。
3. Bボタンを押してクロノグラフ停止時にリセットします。
注: クロノグラフの作動中にAボタンを押すと通常の時刻表示に戻りますが、クロノグラフは内部で作動し続けます。

スプリットタイム測定

1. クロノグラフの作動中にBボタンを押します。
2. Cボタンを押すとスプリットタイムの測定を終わり、トータルタイム測定に戻ります。
3. Bボタンを押してすべての計測を表示します。
4. Bボタンを押してリセットします。

アラームの設定

1. 通常の時刻表示からAボタンを押すとアラーム設定モードになり、“時”が点滅し始めます。
2. Cボタンで調節します。(長押しで早送りできます)
3. Bボタンを押して“分”に進みます。
4. Cボタンを押して調節します。長押しで早送りできます)
5. Bボタンを押してデータをセーブします。
6. Aボタンを押して設定モードを終了し、通常の時刻表示に戻ります。

時刻/日付の設定

1. 通常の時刻表示からAボタンを押して時刻設定モードにすると、“秒”が点滅し始めます。
2. Cボタンを押すとゼロにリセットされます。
3. Bボタンを押して“分”に進みます。
4. Cボタンを押して“分”を合わせます。(長押しで早送りできます)
5. Bボタンを押して次の設定に進みます。4と同じように合わせます。
6. 設定順序は秒→分→時→日→月→曜日です。
注: 時刻を設定する際、24時間表示の場合は“H”が表示されます。12時間表示の場合は“A”または“P”が表示されます。

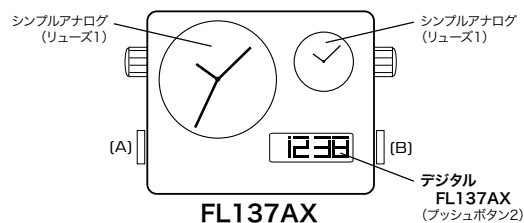
デジタル FL137AX / FL137EA / FL137AB

通常の時刻表示

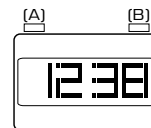
1. Aボタンを押すと表示が切り替わります。表示順序は時刻→カレンダー→秒です。
2. Bボタンを押すと12時間/24時間表示を切り替えられます。

時刻と日付の設定

1. Bボタンを2秒間長押しすると設定モードに移行し、“年”が点滅します。
2. Aボタンを押して調節します。Aボタンを長押しすると早送りされます。
3. Bボタンを押して設定を終了し、次の設定に移行します。
4. 設定順序は年→月→日→時→分です。
5. Bボタンを押して設定モードを終了します。
注：設定モードでは時間は24時間形式になっています。
注：ボタンを30秒間操作しないと、自動的に変更内容はそのまま保存され、通常の時刻表示に戻ります。



FL137AX



FL137EA

アナデジ FL052I

通常の時刻表示

1. Bを押して、ELライトを使用します。
2. Cを押して、チャイムのオン/オフを切り替えます。
3. 都市を選択するには、Dを押して、DSTの オン/オフを切り替えます。
4. モードや設定にかかわらず、何も操作せずに60秒が経過すると、設定は通常の時刻表示に戻ります。

時刻およびカレンダーモード

1. Bを2秒間押し続けて、設定モードを開始します。12時間/24時間表示が点滅し始めます。
2. Cを押して、12時間/24時間表示を選択します。
3. Aを押して、秒、分、時、年、月、日、および都市を選択します。
4. Cを押すと桁が増加し、Dを押すと桁が減少します。
5. Bを押して、設定モードを終了します。



ワールドタイムモード

1. Aを押して、世界の時間モードを選択します。
2. Cを押して、都市を選択します。
3. 都市を選択するには、Dを押して、DSTの オン/オフを切り替えます。

単語	都市	時差	単語	都市	時差
MDY	Midway	-11 時間	PAR	Paris	+1 時間
HNL	Honolulu	-10 時間	CAI	Cairo	+2 時間
ANC	Anchorage	-9 時間	MOW	Moscow	+3 時間
LAX	Los Angeles	-8 時間	DXB	Dubai	+4 時間
DEN	Denver	-7 時間	KHI	Karachi	+5 時間
CHI	Chicago	-6 時間	DAC	Dacca	+6 時間
NYC	New York	-5 時間	BKK	Bangkok	+7 時間
CCS	Caracas	-4 時間	HKG	Hong Kong	+8 時間
RIO	Rio de Janeiro	-3 時間	TYO	Tokyo	+9 時間
-2H	-2H	-2 時間	SYD	Sydney	+10 時間
-1H	-1H	-1 時間	NOU	Noumea	+11 時間
LON	London	0 時間	AKL	Auckland	+12 時間

アラームの設定(アラーム音3種)

1. Aを押して、アラームモードを選択します。
2. Cを押して、アラーム各種をスクロールします。
3. Dを押して、アラームのオン/オフをします。
4. Bを2秒間押し続けて、設定モードを開始します。“分”が点滅し始めます。
5. Aを押して、分と時を選択します。
6. Cを押すと桁が増加し、Dを押すと桁が減少します。設定が変更されると、自動的にアラームがオンになります。
7. Bを押して、設定モードを終了します。

クロノグラフモード

1. Aを押して、クロノグラフモード(STW)を選択します。
2. Cを押すとクロノグラフがスタートし、Dを押すとストップします。
3. 非実行中にDを押すと、クロノグラフがリセットされます。

ラップカウント

1. クロノグラフの実行中にDを押します(最高99ラップまで記録)。
2. Dを押して、タイミングを決定します。
3. クロノグラフに情報が記録されている場合、Aを押すと、ラップ数(TOT)を表示することができます(最高20ラップまで表示)。
4. Cを押すと次のラップ、Dを押すと前のラップを見ることができます。
5. 通常のクロノグラフモードを開始します。Dを押して、ゼロにリセットします。

カウントダウン・タイマー

1. Aを押して、タイマーモードを選択します。
2. Cを押して、タイマーをスタート/ストップします。
3. 非実行中にDを押すと、タイマーがリセットされます。タイマーが再スタートする前は、すべての値がゼロを示します。
4. Bを2秒間押し続けて、設定モードを開始します。“秒”が点滅し始めます。
5. Aを押して、時、分、秒を選択します。
6. Cを押すと桁が増加し、Dを押すと桁が減少します。
7. Bを押して、設定モードを終了します。

デジタル FL291

製品概要

時刻/日付、クロノグラフ、タイマー、アラーム、EL バックライトの機能を搭載。

EL バックライト

(A) を押すと、EL バックライトが3秒間点灯します。

時刻モード

- 時刻を設定するには、時間が点滅するまで(B)を押してください。(C)を押すと設定値が大きくなり、(D)を押すと設定値が小さくなります。(B)を押すと“時”から“分”へ移行します。(設定順序: 時→分→秒(0リセットのみ)→12時間/24時間設定→年→月→日) (B)を押し続けて、設定モードを終了します。
- (C)を押すと時刻と日付が交互に切り替え表示されます。
- (C)を押し続けると、12時間表示から24時間表示に切り替わります。
- (D)を押すと時報のオン/オフが切り替わります。

クロノモード

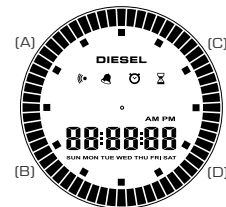
- 時刻モードで(B)を1回押すとクロノモードに移ります。
- (C)を押すとクロノグラフがスタートします。(D)を押すとストップします。(C)を2回押すとスプリットが計測できます。(D)を押すとストップします。
- (D)を押し続けるとクロノモードがリセットされます。

タイマーモード

- 時刻モードで(B)を2回押すとタイマーモードに移ります。
- タイマーを設定するには、時間が点滅するまで(B)を押してください。(C)を押すと設定値が大きくなり、(D)を押すと設定値が小さくなります。(B)を押すと“分”に移行し、更に(B)を押すと“秒”に移行します。(B)を押し続けてタイマーモードを終了します。
- (C)を押すと、タイマーがスタートします。
- タイマーの値がゼロになると、ピーという音が10回なります。
- いずれかのボタンを押すとタイマーは止まります。

アラームモード

- 時刻モードで(B)を3回押すとアラームモードに移ります。
- アラームを設定するには、時間が点滅するまで(B)を押してください。(C)を押すと設定値が大きくなり、(D)を押すと設定値が小さくなります。(B)を押すと“時”から“分”へ移行します。(B)を押し続けてアラームモードをセットします。
- (D)を押すとアラームのオン/オフが切り替わります。
- アラームは20秒間鳴り続けます。
- いずれかのボタンを押すとアラームは止まります。



- 🔊 時報/キー操作音
- 🔔 アラームのオン/オフ
- 🕒 クロノアイコン
- 🕒 タイマーアイコン

モード	操作	ボタン			
		A LIGHT (ライト)	B MODE (モード)	C START/SPLIT (スタート/スプリット)	D RESET/STOP (リセット/ストップ)
時刻	1度押す	EL バックライト	CHRONO (クロノグラフ)	TOGGLE TIME/DATE (時刻/日付の切り替え)	CHIME ON/OFF (時報のオン/オフ)
	押し続ける	-	SETTING (設定)	TIME FORMAT (時刻表示形式)	-
クロノグラフ	1度押す	EL バックライト	TIMER (タイマー)	START/SPLIT (スタート/スプリット)	STOP (ストップ)
	押し続ける	-	-	-	RESET (リセット)
タイマー	1度押す	EL バックライト	アラーム	スタート	ストップ
	押し続ける	-	SETTING (設定)	-	RESET (リセット)
アラーム	1度押す	EL バックライト	TIME OF DAY (時刻)	-	ALARM ON/OFF (アラームのオン/オフ)
	押し続ける	-	SETTING (設定)	-	-
設定	1度押す	EL バックライト	NEXT FIELD (次のフィールド)	INCREMENT (時刻送り)	DECREMENT (時刻戻し)
	押し続ける	-	CONFIRM/EXIT (確認/終了)	FAST INCREMENT (早送り)	FAST DECREMENT (早戻し)

- 注:
- アナログ時間とデジタル時間は一致しない可能性があります。

デジタル FO-001

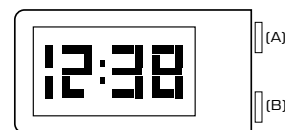
通常時刻表示

Aボタンを押すと、ディスプレイが切り替わります。表示順序は時→日→秒です。

時刻とカレンダーの設定

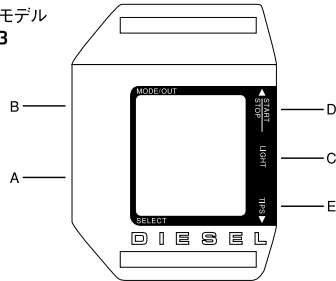
1. 通常の時刻表示からBボタンを二回押すと、月が点滅し始めます。
2. Aボタンを押して調節します。
3. Bボタンを押して次の設定に進みます。
4. 設定順序は月→日→時→分です。
5. Bボタンを押して設定モードを終了します。

注: どの設定モードでも、Aボタンを押すと設定モードを終了させ、通常時刻表示に戻ることができます。



デジタル・モデル FDT003 ボタン配置

アラームモデル
FDT003



アイコン一覧

	タイム1,2		ウィークデイ アラーム1,2		クロノグラフ
	オプション		アラーム/オン		タイマー
	オートEL		チャイム/オン		

アラーム モデル FDT003

機能概要

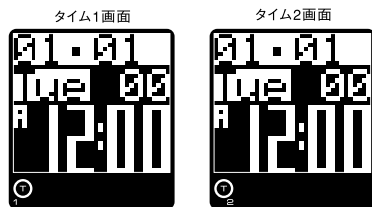
ここでは、このモデルの基本的な機能について述べます。デュアルタイム、アラーム、クロノグラフ、タイマー等の機能説明を時計のダイヤル上に表示される順に説明します。ほとんどの機能の設定方法は「オプション」のページに集中しています。また各モードの操作方法は以下に記されていますが、このモデルの特徴的な機能についてまず説明します。

ライトアップEL

EL（ライトアップ）ボタンはCです。Cボタンを押すと文字盤が3秒間ライトアップされ、暗がりでも表示を読み取ることができます。Cボタンを2秒間押し続けると「オートEL」アイコンが点灯し、機能がオンになります。オートEL機能作動中は、どのボタンを押しても文字盤がライトアップされます。再度Cボタンを2秒間押し続けると、この機能は解除されます。

デュアルタイム

「時刻モード」のとき任意の2都市の時刻を設定すると、Aボタンを押すだけでタイム1とタイム2を切替えることができます。



アラーム

ウィークデイ・アラーム：月曜から日曜まで毎日一定時に鳴るアラームです。

アラーム1&2：一回だけのアラームとしてリピーター・アラームとしても利用できます。

ワンタイム・アラーム：セットした月、日、時刻に一度だけ鳴るアラームです。

リピーター・デイリー・アラーム：毎日同じ時刻に鳴るアラームです。月および日のフィールドをブランクにしたまま、時刻のみをセットして使用します。毎日同じ時刻にアラームが繰返し鳴ります。

リピーター・デイト・アラーム：毎月、同日の同時刻にアラームをセットすることができます。月のフィールドをブランクにしたまま、日と時刻のみをセットしてください。毎月、同日同時刻にアラームが鳴ります。

時刻（月・日）を設定すると、アラームは自動的にオンになります。アラーム音を止めるときは、いずれかのボタンを押してください。

アラームのオン/オフ

Bボタンを数回押すとアラーム・アイコンが表示されます。

1. Aボタンを押してアラームの設定内容を確認することができます。
2. アラーム・モード時にDボタンを押すと、アラームのオン/オフを切替えることができます。オンのときにはONマークが点灯します。
3. 再度Dボタンを押してオフにすると、ONマークは消えます。

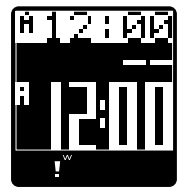
クロノグラフ

1/100秒単位、最長9時間59分59秒/100までの計測が可能です。これを超えても時計は計測を継続しますが、パワー・カウンター（時表示）の数字は「0」にリセットされます。Bボタンを数回押すとクロノグラフ・アイコンが表示されます。

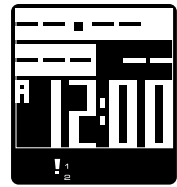
計測のスタート/ストップ

1. Dボタンを押して計測をスタートします。
2. 再びDボタンを押すと計測はストップします。さらにDボタンを押すと計測が再開されます。Eボタンを押すとクロノグラフはリセットされ、「0:00:00:00」が表示されます。

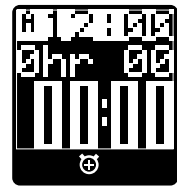
ウィークデイ・アラーム画面



アラーム1,2画面

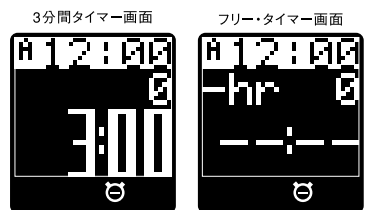


クロノグラフ画面



タイマー

この時計は3分、5分、10分の3種類のプリセット・タイマー機能があります。さらに任意の時間をセットできるフリー・タイマー機能も搭載。タイマーは1秒単位で最短5秒から最長9時間59分59秒まで設定することができます。残時間が「0」になると、タイマーはリセットされ自動的に最初にセットされた時間からの



減算をリピートします（最大99回）。いずれのタイマー機能もスタートしてから14~15時間経過するとリピートを停止し、自動的にリセットされます。

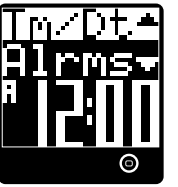
1. Dボタンを押してタイマーをスタートします。
2. 再びDボタンを押すとタイマーはストップします。さらにDボタンを押すとタイマーが再開されます。Eボタンを押すとタイマーはリセットされ、スタート時の画面に戻ります。

オプション・モード

この時計では、あらゆる機能の設定を行うとき「オプション・モード」から入る必要があります。ディスプレイ上にオプション・マークが表示されるまでBボタンを繰返し押します。

1. オプション・モードのとき、Dボタンを押すとメニューがスクロールします。Eボタンを押すとメニューは逆方向にスクロールします。
2. Aボタンを押して、設定したい機能を選択します。ここまでの操作手順はオプション・モードを利用するとき常に共通です。操作中一手前のメニューに戻りたいときはBボタンを押してください。Bボタンを3秒間押し続けると、オプション・モードを終了し、時刻モードに移ることができます。

オプション・モード画面



時間/日付の設定

1. ディスプレイ上にオプション・アイコンが表示されるまでBボタンを押します。DまたはEボタンを押して「Tm/Dt」の表示が出たらAボタンで選択します。「TIME1.2」アイコンが点滅し始めます。（図1）
2. DもしくはEボタンを押して、「タイム1/Tm1」もしくは「タイム2/Tm2」をディスプレイ上に表示させ、いずれかをAボタンで選択します。選択したアイコンが点滅を開始します。
3. 「タイム1 /Tm1」選択時は「秒」が、「タイム2/Tm2」選択時は「分」が点滅したら時刻設定モードです。Dボタンを押すと「秒」を「00」にリセットできます。Aボタンを押して「分」の設定モードに移行します。
4. Dボタンを押すと「分」を「+」方向に、Eボタンを押すと「-」方向に進めることができます。Aボタンを押すと「分」設定が完了し、「時」に移ります。
5. Dボタンで「+」方向、Eボタンで「-」方向に「時」を進め、Aボタンを押して「時」の設定を完了し、「月」に移行します。（図2）
6. Dボタンで「+」、Eボタンで「-」に「月」を進め、Aボタンを押して「月」設定から「日」に移行します。
7. Dボタンで「+」、Eボタンで「-」に「日」を進め、Aボタンを押して「日」の設定を終え「年」に移行します。（図2）

図1

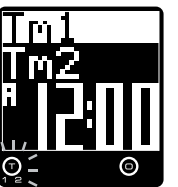
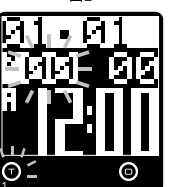


図2



- Dボタンで“+”、Eボタンで“-”に「年」を進め、Aボタンを押して「年」の設定を終え「12/24時間切替え」に移行します。
- DまたはEボタンで「12H」「24H」を表示させ、Aボタンを押していずれかを選択します(図3)。時計は再び「秒」の点滅画面に戻ります。ここまでの設定を変更したい場合は同じ手順を繰り返してください。Bボタンを押すと設定を終了して「Tm1」「Tm2」メニューに戻ります。再度Bボタンを押すと「オプション」モードが表示されます。上記の操作中いずれの段階でもBボタンを数秒間長押しすると、そこまでの設定がセーブされ「時刻」モードに戻ります。

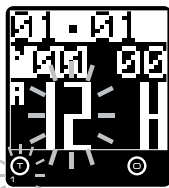


図3

チャイム

チャイムが「オン」のときは毎正時に電子音が鳴ります。モード切替時には電子音がピッと鳴り、時刻モードに切替わる時には一段高い音を発します。

- チャイムの「オン/オフ」を切替えるには、まずBボタンを押して「オプション」モードにします。DまたはEボタンを押して「Alrms」の表示が出たらAボタンを押します。
- DまたはEボタンを押すと「Chime」表示が出るのでAボタンを押すとチャイムが「オン」になり画面上にチャイム・アイコンが表示されます。(図4)
- 再度Aボタンを押すとチャイムはオフになります。



図4

アラームの設定

- オプション・アイコンが表示されるまでBボタンを数回押します。DまたはEボタンを押して「Alrms」の表示が出たらAボタンを押します(図1)。「アラームW、1.2」アイコンが点滅し始めます。
- DもしくはEボタンを押すと、「ウィークデイ・アラーム/AL-wk」「アラーム1/AL-1」「アラーム2/AL-2」等、順次表示が切替わるので、Aボタンを押して選択します。選んだアラームのアイコンが点滅します。



図1

ウィークデイ・アラーム「AL-wk」

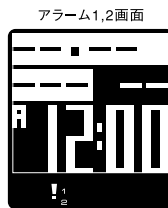
- Dボタンで「分」は“+”方向に、Eボタンで“-”方向に進みます。Aボタンで「分」を決定し「時」の設定モードに移行します。
- Dボタンで“+”、Eボタンで“-”方向に「時」を進め、Aボタンを押して「時」を決定すると再び「分」の点滅画面に戻ります。設定を変更したい場合は同じ操作を繰り返してください。Bボタンを押すと設定を終了して「AL-wk」「AL-1」「AL-2」「Chime」選択のメニューに戻ります。再度Bボタンを押すと「オプション」モードになります。上記の操作中いずれの段階でもBボタンを数秒間長押しするとそこまでの設定がセーブされ、表示は「時刻」モードに戻ります。



ウィークデイ・アラーム画面

「アラーム1/AL-1」「アラーム2/AL-2」

- DまたはEボタンを押して「アラーム1/AL-1」「アラーム2/AL-2」を表示させ、Aボタンを押していずれかを選択します。選んだアラームのアイコンが点灯します。
- 「分」が点滅したらアラーム設定モードです。Dボタンで「分」を“+”方向に進め、Aボタンで“-”方向に進められます。Aボタンを押して「分」を決定し、「時」の設定モードに移行します。
- Dボタンで“+”、Eボタンで“-”方向に「時」を進め、Aボタンで「時」を決定し、「月」に移行します。
- Dボタンで“+”、Eボタンで“-”方向に「月」を進め、Aボタンで「月」を決定し、「日」に移行します。
- Dボタンで“+”、Eボタンで“-”方向に「日」を進め、Aボタンで「日」を設定します。画面は再び「分」の点滅状態に戻ります。設定を変更する場合は同じ手順を繰り返してください。Bボタンを押すと「AL-wk」「AL-1」「AL-2」「Chime」メニューに戻ります。再度Bボタンを押すと「オプション」モードが表示されます。上記の操作中いずれの段階でもBボタンを数秒間長押しすると、そこまでの設定がセーブされ「時刻」モードに戻ります。



アラーム1,2画面



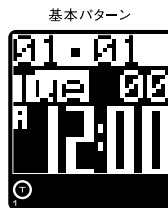
フリー・タイマー画面

タイマー

- フリー・タイマーを設定するには、まずBボタンを押してオプション・モードにします。DまたはEボタンを押して「Timer」と表示されたらAボタンを押すとタイマー・アイコンが点灯します。
- 「秒」が点滅したらタイマー設定モードです。Dボタンで“+”に、Eボタンで“-”に「秒」を進みます。Aボタンを押して任意の「秒」を設定し、「分」の設定モードに移行します。
- Dボタンで“+”、Eボタンで“-”に「分」を進め、Aボタンを押して「分」設定を完了し「時」に移行します。
- Dボタンで“+”、Eボタンで“-”に「時」を進め、Aボタンで「時」の設定を完了します。画面は再び「秒」の点滅に戻ります。設定を変更したい場合はここまでの操作を繰り返してください。「オプション」モードに戻るにはBボタンを押してください。上記の操作中いずれの段階でもBボタンを数秒間長押しするとそこまでの設定がセーブされ、「時刻」モードに戻ります。

表示パターン「Views」

「時刻モード」時の画面表示パターンを5種類の中から選ぶことができます。リセットされるまで、「時刻」は常に設定した画面パターンで表示されます。



基本パターン

基本パターン

基本の設定パターンです。「時」「分」がメインで表示され、秒、月日および曜日が表示されます。

日付/時刻パターン「Dt/Tm」

月と日がメインで表示され、曜日と年、さらに現在時刻が表示されます。



日付/時刻パターン

タイム1/タイム2パターン「T1/T2」

2つのタイム・ゾーンの時刻を同時に表示。タイム2がメインで表れます。この時、Aボタンを押すだけでタイム1とタイム2を切替えることができます。



タイム/タイム2パターン

時刻パターン「Tm」

「時」「分」および「秒」が大きく表示されます。このパターン時にDボタンを押すと「日付/時刻パターン」に切替ります。表示が切替るのはDボタンを押している間だけで、ボタンを放すと「時」「分」「秒」表示に戻ります。



時刻パターン

パターンの設定

- Bボタンを押してオプション・アイコンを表示させます。DまたはEボタンを押して「Views」と表示されたらAボタンを押します。
- DまたはEボタンを押して、選択したいパターンが表示されたらAボタンを押します。新しい表示パターンが選択され、「オプション」モードに戻ります。

人生のヒント「TIPS」

この時計には“人生をうまく送るためのヒント(Tips)”がメモリーされています。「時刻モード」時にEボタンを押すとTipが2回スクロール表示され、元の時刻表示に戻ります。Eボタンを繰り返し押すとスクロールが早送りされ、次々と違うTipsが表示されます。Tipsはもとも順不動(Rndm)に設定されていますが、「All」と「Top10」2通りの表示設定も可能です。



図1

ランダム表示/Rndm

「時刻モード」時にEボタンを押すたびにTipsが次々とランダムに表示されます。



図2

全表示/All

Eボタンを押すたび、番号順にTipsが表示されます。

トップ10表示/Top10

お好みのTipsを10個まで選んで設定します。Eボタンを押すたびに選んだ順にTipsが表示されます。

Tipsの設定

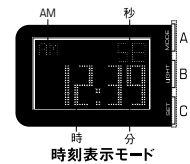
- Bボタンを押して「オプション」モードにします。DまたはEボタンを押して「Tips」と表示されたらAボタンを押します。(図1)
- DまたはEボタンを押して「All」「Rndm」「Top10」の中から任意のパターンを選びAボタンを押します。

シンプル・デジタル モデル FL075AB

表示モード

このモデルのディスプレイ表示は、Aボタンを押すことにより、3通りのパターンを選択することができます。

- 12/24時間表示のいずれを選択している場合でも「時刻モード」時にAボタンを1回押すと「カレンダー・モード」に切り替わります。
- Aボタンを再度押すと、「時刻」と「日付」が1秒間ずつ交互に表示されるようになります。
- 再度Aボタンを押すと、元の「時刻モード」に戻ります。



時刻/日付の設定

- Cボタンを押すと「設定モード」に切り替わります。「年」が点滅し始めるので、Aボタンを押して正しい「年」を表示させます。このモデルは2000年から2050年までのオートカレンダーを搭載しています。
- Cボタンを押すと「月」が点滅し始めます。Aボタンを押して正しい「月」を設定します。
- Cボタンを押すと「日付」が点滅し始めるので、Aボタンを押して正しい「日付」をセットします。
- さらにCボタンを押すと12/24時間表示の選択ができます。数字の「12」が点滅し始めたらAボタンを押して「24」と切り替えることができます。
- Cボタンを押して「時」が点滅し始めたら、Aボタンで正しい「時」を設定します。
- 同様にCボタンを押して「分」を点滅させ、Aボタンで正しい「分」を設定します。
- 「秒」のリセットをする際もCボタンを押します。「秒」を点滅し始めるので、Aボタンを押して「00」に数値をリセットします。
- 最後にCボタンを押して「設定モード」を解除します。



ライトアップEL

Bボタンを押すと文字盤がライトアップされます。

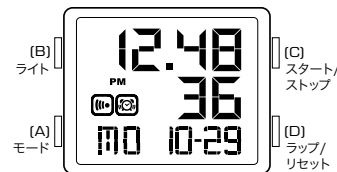
12デジタルモジュール MLG367D, FL610AB

通常の時刻表示

- Aボタンを押してモードを切り替えます。表順序は時刻→アラーム→タイムゾーン2→タイムゾーン1→クロノグラフです。
- Bボタンを押すとELバックライトが点灯します。
注:どの設定モードの表示の際も、Dボタンを押すと設定モードを終了します。
注:どの設定モードの表示の際も、ボタンを押さずに2分間放置するとその表示のまま保存され、自動的に設定が終了します。

時刻とカレンダーの設定

- 通常の時刻表示でDボタンを押すと、秒が点滅します。
- Cボタンを押すとゼロにリセットされます。
- Aボタンを押すと時間の設定に進みます。
- Cボタンを押すと設定値が進みます。長押しすると早送りされます。
- Aボタンを押すと設定が終了し、次の設定に進みます。
- 設定順序は、秒→時→分→年→月→日です。
- Dボタンを押して設定を終了します。
注:日付を合わせると曜日は自動的に設定されます。
注:どの設定モードでもBボタンを押すと、12/24時間表示が切り替えられます。



アラームモード

- Aボタンを押して、アラームモードに移行します。
- Bボタンを押して、アラームのチャイムのオン/オフを切り替えます。
- アラームは設定した時間に20秒間鳴ります。どのボタンを押しても、途中で止めることができます。

アラームの設定

- Aボタンを押して、アラームモードに移行します。
- Dボタンを押すと設定モードに移行し、時間が点滅します。
- Cボタンを押すと設定値が進みます。長押しすると早送りされます。
- Aボタンを押すと設定が終了し、次の設定に進みます。
- 設定順序は、時→分→月→日です。デイリーアラームは月を設定し、日の設定を「----」にします。
- Dボタンを押して設定を終了します。

タイムゾーン2

- Aボタンを押してタイムゾーン2に移行します。
注:タイムゾーン2が表示されている時でも通常の時刻はディスプレイの上の方に表示されます。
- Dボタンを押して設定モードに移行します。時間が点滅します。
- Cボタンを押すと設定値が進みます。長押しすると早送りされます。
- Aボタンを押して設定を終了し、次の分の設定に進みます。
- Cボタンを押すと設定値が進みます。長押しすると早送りされます。
- Dボタンを押して設定を終了します。
注:どの設定モードでもBボタンを押すと、12/24時間表示が切り替えられます。

カウントダウンタイマー

- Aボタンでタイマーモードに移行します。
- Bボタンを押してカウントダウン表示をリセットします。
- Cボタンを押してタイマーをスタート/ストップします。

タイマーの設定

- Dボタンを押して設定モードに移行します。時間が点滅します。
- Cボタンを押すと設定値が進みます。長押しすると早送りされます。
- Aボタンを押すと設定が終了し、次の設定に進みます。
- 設定順序は時→分→秒です。
- Dボタンを押して設定を終了します。
注:どの設定モードでもBボタンを押すと、オートリセットのオン/オフが切り替えられます。オートリセットがオンの時はタイマーが0になると自動的に再スタートします。

クロノグラフモード

- Aボタンを押してクロノグラフモードに移行します。
- Cボタンを押してクロノグラフをスタート/ストップします。
- Bボタンを押してリセットします。

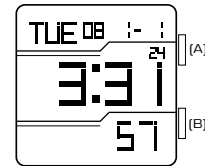
スプリットタイム

- クロノグラフ作動中にBボタンを押すとスプリットタイムが計れます。
- Bボタンを再度押すとクロノグラフカウントに戻ります。
- Cボタンを押すとクロノグラフカウント、スプリットタイムカウント共にストップします。
- Bボタンを押すとリセットされます。

デジタル QAA-006, QAA-033

通常の時刻表示

1. Aボタンを押すとELバックライトが点灯します。
2. Bボタンを押してモードを切り替えます。表示順序は時刻→タイムゾーン2→アラーム→タイマーです。
注:設定モードでボタンを10秒間操作しないと、自動的に変更内容は全て保存され、通常の時刻表示に戻ります。



時刻と日付の設定

1. Aボタンを2秒間長押しすると設定モードに移行します。12時間/24時間表示が点滅します。
2. Bボタンを押して12時間/24時間表示を切り替えます。
3. Aボタンを押して次の設定に移行します。
4. Bボタンを押して秒を0リセットします。
5. Aボタンを押して“時”の設定に移行します。
6. Bボタンを押して調節します。長押しすると早送りされます。
7. Aボタンを押して次の設定モードに移ります。
8. 設定順序は12時間/24時間表示→秒→時→分→年→月→日です。
9. Aボタンを押して設定モードを終了します。
注:曜日は自動的に設定されます。

タイムゾーン2

1. 通常の時刻表示でBボタンを1回押すとタイムゾーン2に切り替わります。
2. Aボタンを2秒間長押しすると設定モードに移行し、“時”が点滅します。
3. Bボタンを押して調節します。長押しすると早送りされます。
4. Aボタンを押すと“分”の設定に移行します。
5. Bボタンを押して調節します。長押しすると早送りされます。
6. Aボタンを押して設定モードを終了します。

アラームモード

1. 通常の時刻表示でBボタンを2回押すとアラームモードに切り替わります。
2. Bボタンを2秒間長押しすると、アラームとチャイムのオン/オフを切り替えられます。
3. アラームは10秒間鳴り続けます。いずれかのボタンを押すとアラームは止まります。

アラームの設定

1. アラームモードでAボタンを2秒間長押しすると設定モードに移行します。“時”が点滅します。
2. Bボタンを押して調節します。長押しすると早送りされます。
3. Aボタンを押して“分”の設定に移ります。
4. Bボタンを押して調節します。長押しすると早送りされます。
5. Aボタンを押して設定モードを終了します。

カウントダウンタイマー

1. 通常の時刻表示でBボタンを3回押すとタイマーモードに切り替わります。
2. Aボタンを押してタイマーをスタート/ストップします。
3. タイマーが0になると、アラームが15秒鳴り続けます。いずれかのボタンを押すとアラームは止まります。

タイマーの設定

1. タイマーモードでAボタンを2秒間長押しすると設定モードに移行します。“時”が点滅します。
2. Bボタンを押して調節します。長押しすると早送りされます。
3. Aボタンを押すと次の設定に移行します。
4. 設定順序は時→分→秒です。
5. Aボタンを押して設定モードを終了します。

DIGITAL G1, G3

通常時刻モード

1. Aボタンを押すと、時、リコール、アラーム、タイマーの順にモードが移行します。
2. Aボタンを3秒間長押しするとオートEL機能のオン/オフができます。
3. Bボタンを押すとELバックライトが点灯します。
4. Cボタンを押すと時報機能のオン/オフができます。
5. Dボタンを押すとタイム2が表示されます。Dボタンを3秒間長押しするとタイム1とタイム2の表示切り替えができます。
注:どのモードでもCボタンを3秒間長押しするとクロノグラフ・モードに移行できます。

時刻/日付の設定

1. 通常ディスプレイでBボタンを3秒間長押しすると設定モードに移行し、“時”の桁が点滅します。
2. Cボタンを押すと値が増加し、Dボタンを押すと値が減少します。
3. Aボタンを押すと次の設定へ進みます。
4. 2と3の手順を繰り返し行い設定します。設定は、時、分、秒、年、月、日付、12/24時間表示選択、月/日または日/月表示の選択、の順に進みます。
5. Bボタンを押して設定を終了します。
6. タイム2の時刻を設定するには、Dボタンを3秒間長押しして、タイム2を表示し、1から5の順序でタイム1と同様に設定します。
注:曜日は設定した年月日に応じて自動的に設定されます。
注:設定中どこでもBボタンを押して設定を終了することができます。
注:設定途中で30秒間何も操作をしなかった場合、それまで設定した値が保存され、通常時刻表示へ戻ります。

リコール(情報呼び出し)モード

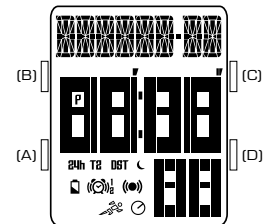
1. 通常時刻モードでAボタンを押して、リコール・モードに移行します。
注:保存されたデータが存在しない場合には、“NO DATA”(データなし)を表示されます。データが保存されている場合、セット1から最大でセット9まで順に表示します。
2. Cボタンを押して、データを次の順で閲覧できます:トータル・タイム、ベスト・タイム、平均タイム、各ラップタイム(最大100ラップ)
3. Dボタンを押すと現在のセットを表示します。さらにDボタンを押すと次のセットを表示します。
4. Dボタンを3秒間長押しすると表示されているセットのデータをリセットすることができます。
注:リコール・モード中にAボタンを押すと、アラーム・モードへ移行します。

アラーム・モード

1. リコール・モードでAボタンを押して、アラーム・モードに移行します。
2. Cボタンを押して、アラームのオン/オフを選択します。
3. Dボタンを押すと、アラーム1とアラーム2の切り替えができます。

アラームの設定

1. アラーム・モードでBボタンを3秒間長押しすると設定モードに移行し、“時”の桁が点滅します。
2. Cボタンを押すと値が増加し、Dボタンを押すと値が減少します。
3. Aボタンを押すと次の設定へ進みます。
4. 2と3の手順を繰り返し行い設定します。設定は、時、分、タイム・ゾーン1/タイム・ゾーン2の選択、の順に進みます。
5. Bボタンを押して設定を終了します。
注:アラームは設定した時間に20秒間鳴ります。いずれかのボタンを押して、途中で止めることも可能です。



カウントダウン・タイマー・モード

1. アラーム・モードでAボタンを押して、タイマー・モードに移行します。タイマー初期設定は5分になっています。
2. Cボタンを押してタイマーをスタートします。Dボタンを押すとタイマーを途中で止めることができます。
3. Dボタンを3秒間長押しするとタイマーがリセットされ、もとの設定した数値が表示されます。
注:タイマーを始動して、カウントがゼロになるとアラーム音が20秒間鳴ります。いずれかのボタンを押して、途中で止めることも可能です。

カウントダウン・タイマーの設定

1. カウントダウン・タイマー・モードでBボタンを3秒間長押しすると設定モードに移行し、“時”の桁が点滅します。
2. Cボタンを押すと値が増加し、Dボタンを押すと値が減少します。
3. Aボタンを押すと次の設定へ進みます。
4. 2と3の手順を繰り返し行い設定します。設定は、時、分、秒の順に進みます。
5. Bボタンを押して設定を終了します。

クロノグラフ・モード


1. どのモードでもCボタンを3秒間長押しするとクロノグラフ・モードに移行できます。
2. Cボタンを押してクロノグラフをスタートします。Dボタンを押すとカウントを止めることができます。
3. Dボタンを3秒間長押しするとクロノグラフがリセットされ、ゼロに戻ります。

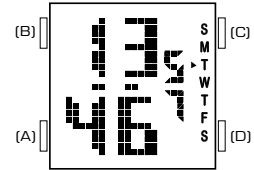
ラップ計測

1. クロノグラフ計測中にCボタンを押すと、ラップが計測できます。
注:Cボタンを押した後、5秒間何もボタンを押さないと、自動的にトータルタイムを表示し、カウントを続けます。
2. Bボタンを押して、次のラップに移行します。(最大100ラップ)
3. Dボタンを押してクロノグラフをストップします。
4. Bボタンを3秒間長押ししてデータをセーブするか、またはDボタンを3秒間長押しするとクロノグラフがリセットされ、ゼロに戻ります。
注:セーブが完了すると、画面には次の新しいセットが表示され(1-9)、メモリーがフルで空きがない場合には、リコール・モードへ移行し、セーブしたデータを閲覧できます。

デジタル FO-002

通常の時刻表示

1. ELバックライトを点灯させるには、Bを押します。
2. Cを押すと日付が表示されます。
3. Dを押すとアラームが表示されます。
4. CとDを押して、アラームのオン/オフを切り替えます。アラームがオンの場合は、が表示されます。
5. AとDを押して、時報のオン/オフを切り替えます。時報がオンの場合は、すべての曜日が表示されます。



時間/日付の設定

1. 通常の時刻表示からAを3度押して設定モードにすると秒が点滅し始めます。
2. Cを押して、ゼロにリセットします。
3. Dを押して、分に進みます。
4. Cを押すと設定値が速く進みます。
5. Dを押して値をセットし、次の設定値へ進みます。
6. 設定は、秒、分、時、日、月、曜日順で行われます。
注記：時間を設定する際、24時間表示の場合は「H」が表示されます。12時間表示の場合は「A」または「P」が表示されます。

アラーム設定

1. 通常の時刻表示からAを2度押すと設定モードになり、時間が点滅し始めます。
2. Cを押して、設定値を調整します。
3. Dを押して、分を進めます。
4. Cを押して、設定値を調整します。
5. Aを押して設定モードを終了し、通常の時刻表示に戻ります。
注記：アラームは1分間鳴り続けます。Dを押すと、アラーム音が止まります。Cを押すと5分後に再度アラームが鳴ります（スヌーズ機能）。

クロノグラフ

1. 通常の時刻表示から、Aを1回押すとクロノグラフモードになります。
2. Cを押すとクロノグラフがスタート/ストップします。
3. Dを押して、ゼロにリセットします。
注記：クロノグラフが動作中にAを押すと通常の時刻表示に戻ります。クロノグラフはバックグラウンドで継続されます。

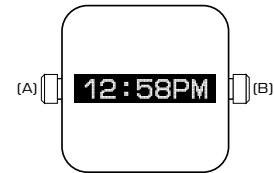
スプリットタイム測定

1. クロノグラフの動作中に、Dを押します。
2. Cを押して、タイミングを決定し、スプリットカウントを終了します。
3. Dを押して、すべてのカウントを表示します。
4. Dを押して、リセットします。

デジタル ZD0603B01

通常の時刻表示

1. 通常の時刻表示では、ディスプレイはオフの状態です。
2. ディスプレーがオフの状態ではAまたはBを押すと、時刻/日付モードになります。最初にリアルタイム表示のスクロールアニメーションが表示され、その後時刻が、ディスプレイに1秒間表示されます。次に日付表示のスクロールアニメーションが表示され、続いて同様に日付が、ディスプレイに1秒間表示されます。その後自動的に表示がオフになります。



時間/日付の設定

1. Aを押したままにすると設定モードになり、12時間/24時間表示の選択が点滅し始めます。
2. Aを押して、12時間/24時間表示を選択します。
3. Bを押して設定し、時間の設定に進みます。
4. Aを押して設定値を進めます。
5. Bを押して値をセットし、次の設定値へ進みます。
6. 設定は、12時間/24時間表示、時、分、日、月、年の順に行われます。
7. 年の設定が終わると、自動的に時刻表示モードに戻ります。
注記：日、月、年を設定すると、曜日は自動的に更新されます。

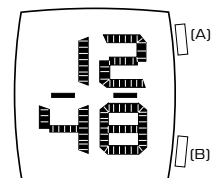
12時間/24時間 デジタルウォッチ MLL033

通常の時刻表示

1. Aボタンを押すとカレンダーが3秒間表示されます。
2. Aボタンを2回押すと「秒」が表示されます。再度Aを押すと通常の時刻表示に戻ります。

時刻と日付の設定

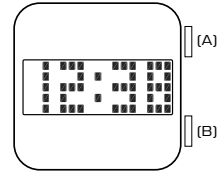
1. 通常の時刻表示でBボタンを2回押すと「月」を表示します。
2. Aボタンを押して調節します。長押しすると早送りされます。
3. Bボタンを押して次の設定に進みます。
4. 設定順序は月→日→時→分です。
5. Bボタンを押して設定を終了します。
6. Aボタンを押すと時計が作動します。コロンが点滅したら、動いている証拠です。
注：12時間/24時間表示の切り替えは時間を設定しているときにできます。12時間表示の時は時刻と共に「A」と「P」と表示され、24時間表示の時は「H」と表示されます。



LED MLG-035

通常の時刻表示

1. Aボタンを8秒間長押しすると時刻が表示されます。
2. 表示されている間にAボタンを再度押すと日付が表示されます。
注：時刻または日付表示の前にアニメーションが2秒間表示されます。



時刻の設定

1. Aボタンを押して時刻を表示します。
2. Bボタンを長押しすると12時間/24時間表示が点滅します。
3. Aボタンを押して12時間/24時間表示を選択します。
注：12時間表示を選択した場合、午後になると小さなドットが左上の角に表示されます。
4. Bボタンを押して、時間の設定に移行します。
5. Aボタンを押して調節します。Aボタンを押し続けると早送りされます。
6. Bボタンを押して分の設定に移行し、同じ様にAボタンで調節します。
7. 設定順序は12時間/24時間表示→時間→分です。
8. Bボタンを押して保存し、設定モードを終了します。
注：設定中8秒間放置すると、表示された設定データがそのまま保存され、通常の時刻設定に戻ります。

日付の設定

1. Aボタンを押して日付を表示します。
2. Bボタンを長押しすると日付が点滅します。
3. Aボタンを押して調節します。Aボタンを押し続けると早送りされます。
4. Bボタンを押して月の設定に移行します。
5. Aボタンを押して調節します。Aボタンを押し続けると早送りされます。
6. Bボタンを押して保存し、設定モードを終了します。

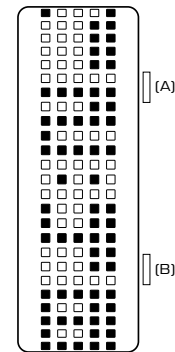
カーブLED MLL-045

通常の時刻表示

1. Bボタンを押すとディスプレイとアニメーションが表示されます。
2. 再度Bボタンを押すと時刻と日付表示の切り替えができます。
3. 時刻または日付が表示されている際にBボタンを3秒間押し続けると、縦または横に表示が切り替えられます。

時刻と日付の設定

1. 時刻表示からAボタンを押し続けると、12/24時間表示が点滅します。
2. Bボタンを押して、12時間または24時間表示を選択します。
注：12時間表示の場合、午後の場合は左上の隅に小さな点が表示されます。
3. Aボタンを押して時間を合わせます。
4. Bボタンを押して調整します。
5. Aボタンを押して設定を完了し、次の設定に移行します。
6. 設定順序：12時間/24時間表示→時間→分→日付→月
7. Aボタンを押すと設定を保存し、設定を完了します。
注：7秒間ボタンを押さないと、自動的にその表示のまま設定が保存され、通常の時刻表示に戻ります。



パーソナルメッセージの設定

1. 時刻表示でBボタンを押し、日付表示になったら再度Bボタンを押し、Aボタンを長押しするとメッセージの最初の文字が点滅します。
2. Bボタンを押して文字を選択します。
3. Aボタンを押して、次の文字に移行します。
4. 2と3を繰り返し、メッセージを完成させます(文字は最大10文字まで設定できます)。

OLEDモデル

通常のディスプレイはオフの状態になっています。Aボタンを押すと時刻のスクロール表示と日付表示(図1参照)、Bボタンを押すとアニメーション表示と時刻と日付が表示されます(図2参照)。

注：アニメーションはランダムに4つのパターンから選べます。Bを押すとパターンが変更できます。

時刻と日付の設定

1. ディスプレイが表示されている状態でAボタンを2秒間長押しすると設定モードになり、“時”が点滅します。
2. Bボタンを押して“時”を合わせます。Bボタンを長押しすると早送りされます。
3. Aボタンを押して次の設定モードに移ります。
4. 設定は時→分→月→日→年→12時間/24時間表示の順に行われます。
5. “分”が設定されると“秒”がゼロにリセットされます。
6. 12時間/24時間表示の設定が終了すると、設定の変更は保存され、自動的に通常の時刻表示に戻ります。

注：7秒間以上ボタン操作を行わないと、設定内容は自動的に保存され、自動的に通常の時刻表示に戻ります。



図1

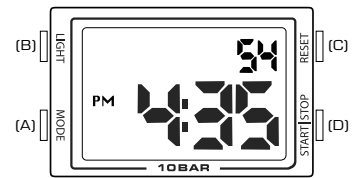


図2

デジタル BJ2718, BJ2679, BJ2957

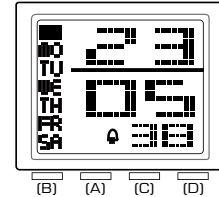
通常の時刻設定

1. Aボタンを押すと、モードが切り替わります。表示順序は時刻→クロノグラフ→アラーム→時刻です。
2. Bボタンを押すとELライトが点灯します。
3. Cボタンを押して日付を表示します。
4. Dボタンを押してアラームを表示します。
5. AボタンとDボタンを同時に押して、チャイムのオン/オフを切り替えます。(オンにした場合、“ON”と表示されます。)
6. CボタンとDボタンを同時に押して、アラームのオン/オフを切り替えます。



クロノグラフ

1. Aボタンを押して、クロノグラフモードに移行します。
 2. Cボタンを押すと、クロノグラフをスタート/ストップします。
 3. Dボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、ゼロに戻ります。
- 注:クロノグラフの作動中にAボタンを押すと通常の時刻表示に戻りますが、クロノグラフは内部で作動し続けます。

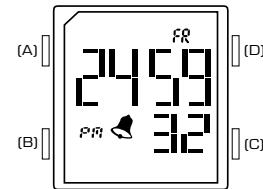


スプリットタイム測定

1. クロノグラフ作動中にDボタンを押します。
2. さらにDボタンを押すと、次のスプリットタイムを測定します。
3. Cボタンを押して測定をストップします。
4. Dボタンを押すと、トータル/スプリットタイムを表示します。
5. Dボタンをもう一回押して、リセットします。

アラーム設定

1. Aボタンを押すとアラーム設定モードになり、“時”が点滅し始めます。
 2. Cボタン設定値が進みます。長押しで早送りできます。
 3. Dボタンをもう一回押して“分”の設定に進みます。
 4. Cボタンを押して分を調節します。長押しで早送りできます。
 5. Aボタンを押して設定モードを終了し、通常の時刻表示に戻ります。
- 注:アラーム音は一分間鳴り続けます。Dボタンでアラーム音が止まります。Cボタンを押すと5分後に再度アラームが鳴ります(スヌーズ機能)。



時刻/日付設定

1. Aボタンを押して、時刻/日付設定モードを開始します。“秒”が点滅し始めます。
 2. Cボタンを押すと、秒がゼロにリセットされます。
 3. Dボタンを押すと、分の設定に進みます。
 4. Cボタンを押すと設定値が進みます。長押しで早送りできます。
 5. Dボタンを押すと設定が終了し、次の設定に進みます。
 6. 設定順序は、秒→時→分→年→月→日です。
 7. Dボタンを押して設定を終了します。
- 注:時刻を設定の際、24時間表示の場合は“H”、12時間表示の場合は“A(午前)”か“P(午後)”が表示されます。

デジタル BJ3101

通常の時刻表示

1. Aボタンを押すとELライトが点灯します。
2. Aボタンを押すと、日付が表示されます。



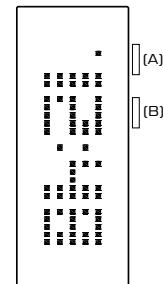
時刻/日付設定

1. Bボタンを押すと設定モードになり、“秒”が点滅し始めます。
2. Aボタンを押すと秒がリセットされ、通常表示に戻ります。
3. 再度Bボタンを押すと、時刻設定に進みます。
4. Aボタンを押すと設定値が進みます。長押しで早送りできます。
5. 設定順序は、秒→時→分→年→月→日です。
6. Bボタンを押して設定を終了します。

ケーブルLED QFL631

通常の時刻表示

1. Bボタンを押すと時刻が表示されます。
2. 表示されている間に再度Bボタンを押すと日付が表示されます。
3. 時刻や日付が表示された後、パーソナル・メッセージが表示されます。画面表示はメッセージの表示後に、自動的にオフになります。



時刻/日付設定

1. Aボタンを2秒間長押しすると、12/24時間表示が点灯し始めます。
 2. Bボタンを押して、12時間か24時間表示かのどちらかを選びます。
 3. Aボタンを押して時刻設定に進みます。
 4. Bボタンを押すと設定値が進みます。長押しで早送りできます。
 5. 再度Aボタンを押して次の設定に進みます。
 6. 設定順序は、12/24時間→時→分→年→月→日です。
 7. Aボタンを押して設定を終了します。
- 注:7秒間ボタンを押さないと、自動的にその表示のまま設定が保存され、通常の時刻表示に戻ります。

パーソナル・メッセージの設定

1. 日付表示モード(画面表示オフで、Bボタンを2回押し)で、Aボタンを2秒間長押しすると、先頭の文字が点灯します。
2. Bボタンを押して文字を選択します。
3. Aボタンを押して、次の文字に移行します。
4. 2と3を繰り返し、メッセージを完成させます。(文字は最大10文字まで設定できます)